

平成21年度  
生物多様性  
モデル事業

事業名：シャープゲンゴロウモドキを守る事業  
団体名：大多喜シャープゲンゴロウモドキを守る会

## ☆ 目的

大多喜町に生息するシャープゲンゴロウモドキを守り、環境保全や学校教育への普及、そして自然保護への関心を深めることを目的とする。

## ☆ 内容

シャープゲンゴロウモドキは、環境省では絶滅危惧I類、千葉県では最重要保護生物に指定されている絶滅の危険性の最も高い水生昆虫です。特にシャープゲンゴロウモドキの関東型は、千葉県以外では絶滅しており、千葉県内でも生息地は2カ所に減少しています。当会では、この生息地のうち1カ所について、生息環境の保全・生息場所の拡大、採集防止等の活動を行いました。

### 【主な活動】

- 生息地の除草（小学校観察会前の2回）
- 畦畔の補修（随時）
- 土砂の除去等（随時）
- 有害鳥獣防止柵の設置
- 新規生息地の整備
- 採取防止パトロール
- 新規生息地周辺の進入防止看板の設置

## ☆ 今後

- 生息地の維持管理及び拡大
- 採取防止パトロール
- 地域住民への理解と協力の呼びかけ



シャープゲンゴロウモドキ

## ☆ 団体概要

絶滅危惧種の水生昆虫、シャープゲンゴロウモドキが生息している周辺の住民により構成され、里山の保全等の活動と共に、この希少生物の保護に出来る範囲で取り組んでいます。

## ☆ 主な活動

シャープゲンゴロウモドキの保全を通して、地域の自然環境の保全に資する活動を行う。

- 生息地の維持管理
  - ・除草作業
  - ・畦畔の補修
  - ・土砂の除去
  - 他
- 新規生息場所の整備
  - ・生息環境の創出と維持管理
- 採取防止パトロール
  - ・見廻りと声掛けなど

\*以上を、千葉県の設置するシャープゲンゴロウモドキ保全協議会および千葉シャープゲンゴロウモドキ保全研究会等の専門家と協力しながら実施。

## ☆ 問い合わせ

代表者：野村 一夫

住所：

電話：